

みゅーじあむ・船橋

Funabashi Historical Museum & Tobinodai Historic Site Park Museum News
船橋みゅーじあむ
Vol.21

令和5年9月



第21号

- 博物館ニュース [2]
母校の中の様子を思い出せますか？ 一企画展「私たちのまなびや」を終えて [3]
吉澤野球博物館資料展示室より Vol.1 野球人気を支えたアナウンサーたち [4-5]
船橋の遺跡を知ろう！ 船橋市の遺跡把握の歴史 [6-7]
インフォメーション [8]

博物館ニュース

郷土資料館

出張美術展「どこかで見た不思議な風景」

郷土資料館では令和5年5月27日から6月11日まで、教育委員会文化課との共催で令和5年度船橋市出張美術展「どこかで見た不思議な風景」を開催しました。船橋市が所蔵する風景画を中心とした美術作品23点を紹介するとともに、作品にまつわる郷土資料館所蔵資料の展示を行いました。

船橋市を代表する洋画家・椿貞雄の写実的な風景画や日本画家・磯田長秋の木版画の原画、柴宮忠徳による夢の中で見たことがあるような心象風景画などが展示され、またそれらの絵画にまつわる船橋市の歴史資料を併せて展示することで、美術作品を多角的に観賞できるような取り組みを行いました。

また、展示期間中には文化課学芸員による対話型ギャラリーツアーや、薬円台小学校、薬円台南小学校との学校連携事業として事前学習を含めた見学会が開催されるなど、「アートでつながるまち ふなばし」のコンセプトのもとに、来館者とのコミュニケーションを重視した企画も盛り込まれました。



飛ノ台史跡公園博物館

企画展「第22回縄文コンテンポラリー展inふなばし かえる～原始の創造とアートの想像～」

飛ノ台史跡公園博物館では、令和5年7月16日から8月27日まで、「第22回縄文コンテンポラリー展inふなばし かえる～原始の創造とアートの想像～」を開催しました。

当館に所蔵されている縄文土器や土偶といった縄文時代(原始)の創造物から受けたインスピレーションを基に、アーティストの自由な想像によって生み出された作品を展示しました。本年度は9組のアーティストが参加しました。どの作品も出土した展示物との関連性を考えさせられる作品ばかりで、縄文と令和の時代の融合を感じました。

7月16日のオープニングイベントでは、「縄文植木鉢でカンタン盆栽に挑戦！」のワークショップが行われました。参加者は成形・乾燥・焼成・盆栽までの過程を楽しく体験し、メタリックな現代版の縄文土器が完成しました。



榊原 勝敏 「縄文クマムシ house で花祭り」

他にも、参加アーティストによるワークショップでは、「カラフルな樹脂ねんどでオリジナル土偶を作ろう!」、「縄文のジグソーパズル! 土器復元ワークショップ」などが開催され、200人が参加しました。

会期中には、3,179人の来場者がありました。この夏、多くの方が飛ノ台史跡公園博物館で縄文時代の創造物から想像を膨らませ、「新たな何か」を創造したのではないのでしょうか。



ワークショップ「縄文植木鉢でカンタン盆栽に挑戦!」

母校の中の様子を思い出せますか？

—企画展「私たちのまなびや」を終えて—



(令和5年8月3日、西海神小学校にて撮影)



上の絵は、西海神小学校6年1組の昭和40年度卒業制作です。当時の敷地内にあった施設の配置がわかるだけでなく、よく見ると、教室の中の様子や「今週のもくひょう」も描かれています。

西海神小学校は、海神小学校と葛飾小学校から分離して昭和28(1953)年4月に開校しました。この絵に描かれている校舎は木造で、海神南小学校が分離した昭和52(1977)年度に鉄筋校舎になるまで使用されました(現在の校舎は平成24年度完成)。また、この絵に描かれているプール・花壇・垣根・小鳥小屋など、昭和30年代に、施設が徐々に充実していきました。

この絵を描いた児童たちは、小学校を卒業した後、人口が激増し、学校の新設やプレハブ校舎の使用が増える船橋市の変化を見ながら成長していきました。昭和40～50年代の船橋市は、団地や宅地の開発が進み、市外から多くの世帯が流入しました。船橋市教育委員会は、昭和48(1973)年に、人口約60万人が推定される昭和60年を見据えた学校設置長期計画策定に着手し、学校の新設や学区の変更などについて検討しています(『学校設置長期計画書』昭和49年10月発行)。

郷土資料館の企画展「私たちのまなびや」(会期：令和5年7月15日～9月10日)では、50～60歳代の来館者の方々から、新設校への転校やプレハブ校舎の思い出を伺う機会がたびたびありました。下の表の「校舎の構造」欄を見ると、昭和40年代後半から50年代前半にかけて、西海神小学校のように、校舎が木造から鉄筋コンクリート造に建て替えられた学校が多かったこともわかります。

ところで、みなさんは、自分が通っていた学校を思い出して、敷地内の施設の配置がわかる絵を描けますか？私は、自分が通った小学校の施設の配置(特に遊具の種類と配置)は、正確に思い出せませんでした。ですが、仲が良かった友人の顔や校庭での遊びを思い出して、とても懐かしい気持ちになりました。

成長とともに行動範囲が広がったり引っ越ししたりすると、自分の出身校として、小・中・特別支援学校をあげる機会は減るのではないのでしょうか。企画展「私たちのまなびや」や本稿が、母校に思いを馳せていただき、懐かしい思い出を引き出すきっかけになったとしたら、とても嬉しく思います。

(小田 真裕)

年度	人口	世帯数	児童・生徒数		学校数		プレハブ教室数		校舎の構造(木造・鉄筋・その他)	
			小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
昭和30	114,921	23,409	15,308	6,443	16校・6分校	8校				
昭和40	223,989	58,502	16,704	8,007	21校・1分校	11校	3	13		
昭和45	325,426	91,622	28,814	8,776	29校	13校	87	31	40%・49.5%・10.5%	34.1%・59%・7.9%
昭和48	388,432	113,500	39,109	12,019	35校	16校	154	43		
昭和50	423,101	124,327	45,814	15,030	38校	17校	126	30		
昭和55	479,439	155,372	56,112	22,076	50校	24校	27	11	0.47%・98.13%・鉄骨その他1.4%	0.24%・96.88%・鉄骨その他2.88%
令和5	647,059	300,245	32,683	15,650	55校	26校	9	2	0%・97.3%・鉄骨2.7%	0%・93.6%・鉄骨6.4%

※調査の月は項目によって異なる。昭和30～55年度の数値は『船橋市教育委員会史 三十年の歩み』(船橋市教育委員会、昭和56年3月)、『令和3年度(2021年)版 ふなばし市政の概要』(船橋市議会事務局、令和3年9月)、『教育要覧 令和4年度版』(船橋市教育委員会、令和4年10月)、船橋市ホームページによる。

※令和5年度の数値は船橋市ホームページおよび船橋市教育委員会学校教育部施設課調べ。仮設のプレハブ校舎は0教室。校舎の構造の比率は体育館、給食棟、渡り廊下等を除いたもの。

野球人気を支えたアナウンサーたち

はじめに

今年、WBC優勝に日本中が熱狂の渦に包まれ、3月開幕のプロ野球にまで影響を及ぼしたといいます。昨年の市立船橋高等学校の甲子園出場、船橋スカイセイラーズの活動開始など、市内の野球熱も高まっています。実は、船橋市には野球資料を専門に扱う展示室があります。

吉澤野球博物館資料展示室について



写真1：吉澤野球博物館資料展示室

吉澤野球博物館は、船橋市本中山に平成27(2015)年まで存在した博物館です。吉澤善吉氏が東京六大学野球の黄金期である昭和2(1927)年から昭和4(1929)年の歴史を正しく残す目標のもと設立しました。収蔵資料は船橋市に寄贈され、平成29(2017)年に吉澤野球博物館資料展示室が船橋アリーナ内にオープンしました。

本稿では、令和4年度企画展「この人、知ってる？野球人気を支えたバイプレイヤー展～野球を支え、盛り上げたラジオ・スポーツ実況～」(令和4年10月8日～11月6日開催)の成果を基に、ラジオによる野球実況について紹介します。

野球を支えたバイプレイヤー

日本でラジオ放送が開始されたのは、大正14(1925)年のことです。昭和2(1927)年、全国中等学校野球大会*1において、日本で初めてラジオによる野球実況が行われます。その後、野球実況は、ラジオ番組のなかで特に人気を集める番組となりました。

野球実況の人気の背景には、娯楽放送の少なさと、アナウンサーの話し術があげられます*2。企画展では、雑誌記事を用い、アナウンサーの話し術に焦点を充てた展示を行いました。

ラジオ放送が始まった同年に社団法人東京放送局*3に入局した^{まつうちのりぞう}松内則三は「夕闇迫る神宮球場、ねぐらへ急ぐカラスが一匹、二匹…」という実況を行い、レコードとしてヒットするほどの人気を誇りました。松内は、雑誌記事のなかで「野球を直接見たことがない人たちにも分かるような放送を心掛けたい」と語ります*4。



写真2：松内則三

昭和4(1929)年には、後に松内と人気を二分したといわれる^{かさいみつみ}河西三省が社団法人東京放送

局に入局します。

河西は運動記者をしながら、試合速報を伝える掲示板の解説員をしており、その腕を見こまれての就職でした。河西は、運動記者時代から飛田穂州とびた すいしゅうの元に質問に通っていることを明かしています※⁵。

松内と河西は、昭和9(1934)年に放送員としてロサンゼルスオリンピックに派遣されます。しかし、実況中継は叶わず、アナウンサーが試合を見た後でその様子を実況のようにして収録する実況放送が行われました。

松内、河西がロサンゼルスオリンピックに派遣された年、和田信賢わだ のぶかたが日本放送協会の第一期アナウンサーとして入局します。和田の入局まで、アナウンサーは明確な定義がないものでした。

同様に、球場設備も不十分でした。和田は、戸塚球場ではスコアを記録する設備がなかったために基石を持参し、洲崎球場は満潮時にグラウンドが浸水しており、その模様も実況したといます※⁶。

松内と和田が第一回全日本職業野球※⁷対抗戦の実況を務めた昭和11(1936)年、後にプロ野球の天覧試合を実況する志村正順しむらまさよが入局します。志村の声は、「声の軽機関銃」といわれるほど早く、聞き取りやすい点が特徴でした。志村は、「野球は娯楽放送」だから面白くないといけないと語ります※⁸。

当時は、声のみを頼りにスコアノートを取る者も多く、正確な試合状況の描写が必要とされていました。雑誌記事からは、話術こそ異なるものの共通して、ラジオの聴取者が試合を想像



写真3：令和4年度の企画展の様子

できるよう心掛けていたことが確認できます。

吉澤野球博物館資料展示室は、他にも貴重なコレクションを有しています。今後も資料を通して、野球文化を紹介していきます。

(廣江 咲奈)

補足・引用文献等

- ※1：後の「全国高等学校野球選手権大会」(いわゆる「夏の甲子園」)のこと
- ※2：小林利行 2018 「戦前の『講談調』野球実況はなぜ人気となったのか～放送種目割合や聴取者意向から検証する～」『放送研究と調査』68-4
- ※3：日本放送協会(NHK)の前身の一つ
- ※4：松内則三 1930 「野球放送の苦心を語る」『野球界』20-5,30
- ※5：河西三省「野球放送雑話」『野球界』22-3,169
- ※6：和田信賢 1947「放送記者今昔噺」『学生野球』2,26
- ※7：「職業野球」、つまりプロ野球のこと
- ※8：志村正順 1948「マイクを通じて」『野球世界』1-1,24

船橋市の遺跡把握の歴史

船橋市内には令和5(2023)年現在、206ヶ所の遺跡があります。文化課では毎年「船橋の遺跡マップ」を作成して、資料館や博物館で配布しているので、船橋の遺跡地図を見たことがある人もいないのでしょうか。では、この遺跡はどのように把握され、現在の206ヶ所になっていったのでしょうか。船橋で最初に遺跡として認識されたのはどこだったのでしょうか。

船橋の遺跡把握のはじまり

明治25(1892)年に若林勝邦によってまとめられた「下総武蔵相模ニ於ケル貝塚ノ分布」(『東京人類学会雑誌』7巻73号)に船橋の遺跡が登場します。船橋市内で最初に遺跡として把握されたのは、「東葛飾郡古作村(古作貝塚)」「東葛飾郡後貝塚村(後貝塚)」「東葛飾郡前貝塚村(前貝塚)」「千葉郡滝台村(不明)」の4ヶ所でした(それぞれの現在の遺跡との対応は()の通りです)。当時は船橋市はまだ存在せず、東葛飾郡と千葉郡に分かれており、東葛

現在の船橋市内の遺跡: 206ヶ所



飾郡の3ヶ所は「発見」ではなく「実践」となっていることから、これ以前から知られた遺跡であったことがわかります。

市による遺跡把握

船橋市の前身となった船橋町が昭和12(1937)年に刊行した『船橋町史』には、遺跡が一覧表などにまとめられているわけではありませんが、近年、円墳9基が見つかった宮本台・峰台遺跡周辺のことについて、要約すると「峰台の古墳。船橋町字高根台(高根道の誤りか)の畑中にあり。明治9年ころ切り崩され、砂岩質の石槨の破片を積み上げる1坪あまりの小丘。元々は刀剣類が掘り出された。大正4年に南10数間の畑から約1間程度の石槨や土器が発見された」と記されるなど遺

明治二十五年四月

(二十七)全	(二十六)全	(二十五)全	(二十四)全	(二十三)全	(二十二)全	(二十一)全	(二十)全	(十九)全	(十八)全	(十七)全	(十六)全	(十五)全	(十四)全	(十三)全	(十二)全	(十一)全	(十)全	(九)全	(八)全	(七)全	(六)全	(五)全	(四)全	(三)全	(二)全	(一)全	
千葉郡仁戸名村	千葉郡矢作村 字かひがら塚	千葉郡坂月村 字新田山	千葉郡加曾利村	千葉郡貝塚村	千葉郡園生村 字長者平	千葉郡東山村 字石上	千葉郡西山村 字二十四里	千葉郡宮野木村 字城山	千葉郡鴨橋村 字かひがら畑	千葉郡澁臺村 田二至ル敷ノ間	東葛飾郡前貝塚村	東葛飾郡後貝塚村	東葛飾郡古作村	東葛飾郡曾谷村	東葛飾郡下貝塚村	東葛飾郡國分寺村	東葛飾郡筑比地村 榮光寺内										
				(若林勝邦實踐)							(若林勝邦實踐)	(若林勝邦實踐)	(若林勝邦實踐)	(若林勝邦實踐)	(若林勝邦實踐)	(若林勝邦實踐)	(若林勝邦発見)										

若林勝邦 1892「下総武蔵相模ニ於ケル貝塚ノ分布」『東京人類学会雑誌』7巻73号より(部分)

跡の旧状を知ることが出来ます。

開発と市全域の遺跡把握

昭和39(1964)年に刊行された『船橋市の遺跡』では、ガリ版刷りで26ヶ所の遺跡が一覧表と地図の形で掲載されています。一覧表のタイトルが「船橋市内縄文式時代遺跡表」となっているように、遺跡として注目される時代はこの頃になっても縄文時代が中心だったようです。

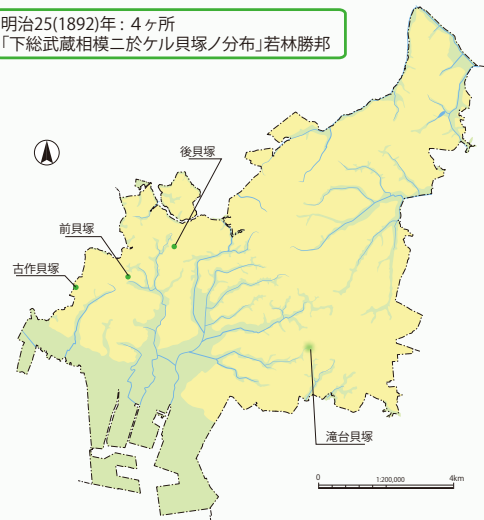
昭和52(1977)年に刊行された『船橋市の遺跡 埋蔵文化財包蔵地所在調査報告書』では、昭和46～51年度に一部調査が間に合わない地域もあったようですが、市内全域の遺跡の分布調査が行われます。市内の遺跡は134ヶ所。遺跡には市の北から順に番号が振られ、現在もその番号が引き継がれています。昭和38(1963)年の塚田貝塚の発掘調査以降、市内では、夏見台遺跡や高根木戸遺跡など、開発を原因とする発掘調査が本格化します。しかしそれらの中には元々は遺跡としては把握されておらず、開発によって直前に見つかることもあったことから、市内全域の正確な遺跡把握は急務だったと推定されます。昭和58(1983)年『船橋市の遺跡 埋蔵文化財包蔵地所在調査報告書』では、遺跡の把握が地点から範囲で囲われるようになり、より現在に近づき、145ヶ所となりました。

船橋市の遺跡の把握は、開発の影響を大きく受けていました。その状況は当時の刊行物でも「遺跡の保存ということを実際にとりくまねばならない段階に来ていると思います」と書かれています(高橋濂1974「『船橋市』の考古学に於ける課題」『船橋考古3』)。そのような先達たちの苦労の上に取掛西貝塚の国史跡指定があると言えるでしょう。現在では発掘調査は大小合わせて毎年40件ほど行われ、船橋の遺跡には昔も今も新しい発見があります。

(狩野美那子)

参考文献 堀越正行2009「貝塚解題—船橋市古作貝塚を例として—」
『東京湾巨大貝塚の時代と社会』

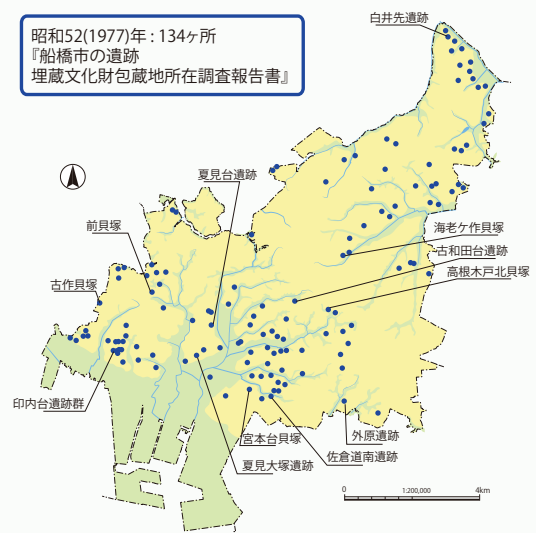
明治25(1892)年: 4ヶ所
「下総武蔵相模ニ於ケル貝塚ノ分布」若林勝邦



昭和39(1964)年: 26ヶ所
『船橋市の遺跡』



昭和52(1977)年: 134ヶ所
『船橋市の遺跡 埋蔵文化財包蔵地所在調査報告書』



インフォメーション

※両館の行事の詳細は、毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。
 ※日程・内容に変更が生じる場合がございます。最新の情報は、ホームページをご確認いただくか、直接両館にお問い合わせください。

郷土資料館

※薬円台公園内のSLの運転台を、毎週土曜日・日曜日・祝日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

【令和6年3月までの主な行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
令和5年10月1日(日)～11月30日(木)	企画展「1万年前のタイムカプセル—国史跡取掛西貝塚—」	郷土資料館3階第2展示室
令和5年11月26日(日)	文化講演会 「国史跡 取掛西貝塚ってどんな遺跡?! ～1万年前の暮らしをのぞいてみよう～」 共催：薬円台公民館	薬円台公民館 (船橋市薬円台 5-18-1)
令和6年1月20日(土)～3月31日(日)	企画展「くらしの道具展—道具が語るくらしの歴史—」	郷土資料館3階第2展示室



協力：船橋市華道連盟

飛ノ台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間中に、小学校4年生から大人向けのワークショップを実施しています。

【令和6年3月までの主な行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
令和5年11月11日(土)～令和6年2月4日(日)	企画展 「変化する縄文の暮らし—船橋の縄文後期—」	飛ノ台史跡公園博物館 1階ギャラリー
令和5年11月22日(水)、11月29日(水)、12月6日(水)	縄文大学	市民文化創造館（きららホール） (船橋市本町 1-3-1 フェイスビル6階)
令和6年1月13日(土)、1月20日(土)、1月27日(土)	考古学講座	海神公民館 (船橋市海神 6-3-36)

「ふなばし生涯学習チャンネル」では、両館の職員手作りの学習動画を配信しています。➡



ご利用案内・交通案内

郷土資料館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
住 所 船橋市薬円台4-25-19
電 話 047-465-9680
F A X 047-467-1399
Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成線 習志野駅下車徒歩10分
 JR津田沼駅北口から
 船橋新京成バス・ちばレインボースで
 「郷土資料館」下車徒歩2分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般110円(団体20名以上70円)
 児童生徒50円(団体20名以上30円)
 市内在住中学生以下 無料
住 所 船橋市海神4-27-2
電 話 047-495-1325
F A X 047-435-7450
Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン
 新船橋駅下車徒歩8分
 京成本線 海神駅下車徒歩15分
 東葉高速線 東海神駅下車徒歩12分
 船橋新京成バス
 JR船橋駅北口から山手ループ線
 「海神中学校前」下車徒歩1分



休館日カレンダー

10月							11月							12月							令和6年 1月							2月							3月												
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土						
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2	1	2	3	4	5	6																					
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9						
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16						
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23						
29	30	31	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	25	26	27	28	29	24	25	26	27	28	29	30	31																

□ は郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館休館日 ※都合により、休館日に変更になる場合があります。